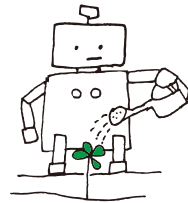


 甲東機工株式会社



社名ロゴの説明：社長の要望「未来を感じられて、普通じゃなくて、読みにくくないもの・・・」を受けてデザインしたものです。どう？  
英文字ロゴ：なんでバックマンかって？一応、頭文字のKOのつもりです。そして、何でも飲み込んで自分の力にしてみえ！という意気  
込みとコミュニケーション（会話）が大事だよというメッセージを込めて・・・  
ブックデザイン：オノコボデザイン

モノづく  
り社員ノ  
ススメ

人生を捧げなくていい、青春を捧げてみないか







Go to the next stage ▶

一、仕事はエンジョイするものである。

一、モノづくり社員たるもの、人を幸せにする発想力を持つて。

一、モノづくり社員たるもの、常に研究せよ。

一、モノづくり社員たるもの、常にベンチャーを志せ。

一、コミュニケーションはモノづくりの基本である。

頑張るだけの社員になるべからず。

1日に30分、「わくわく」出来る仕事をするべし。

それ以外はそこそこでいい。

モノづくり社員を目指す者なら

難しいモノを真面目に作ってはいるけれど

常に「わくわく」を追い求めている

甲東機工の門をたたくべし。

一、仕事はエンジョイするものである。



営業・生産管理課 竹下 亮輔（たけした りょうすけ） 経済学部卒 入社1年  
「僕はマジでエンジョイしてるッス、仕事。」

わくわくしながら仕事ができたら

次に他の人をわくわくさせるべし。

君がモノづくりをする事が、

誰かを幸せな気分にする。

エンターテインメント性を追求する者は

常に、魅せる工場を目指している甲東機工の門をたたくべし。



一、モノづくり社員たるもの、

人を幸せにする発想力を持って。



生産技術課課長 黒田 英治 (くろだ えいじ) 工学部卒 入社10年  
「製造業とはダイナミックなエンターテインメントだと思う。」

はじめてのモノを手にする時、知らないコトを知る時、  
君はわくわくする。

「わくわく」を仕事に持ち込むこと、それが研究である。

もっと便利にしたい。もっと楽しくしたい。もっとカッコ良くしたい。

そんな「もっと、もっと」を研究する事で実現したい者は、

いつまでも同じモノを作っている気などさらさら無い会社

甲東機工の門をたたくべし。



一、モノづくり社員たるもの、常に研究せよ。



生産技術課 清 隆次 (せい りゅうじ) 工学部卒 入社1年  
「研究に最も必要なもの、それは愛だと思っています。」

研究し、なにがしかの答えを得たなら

次に起業を思うべし。

新しい価値は世間に出してこそ価値を生む。

社内ベンチャーもよし、独立起業もよし

甲東機工と張り合って、世界を目指そうと思う者は

とりあえず甲東機工の門をたたくべし。



一、モノづくり社員たるもの、

常にベンチャーを志せ。



品質保証課 吉山 智史 (よしやま さとし) 理工学部卒 入社1年  
「僕、本気で世界を目指しています。」

モノづくりで大事な事は

モノを作ってあげるという気持ちである。

(彼のためにマフラーを編んであげる。) のであって

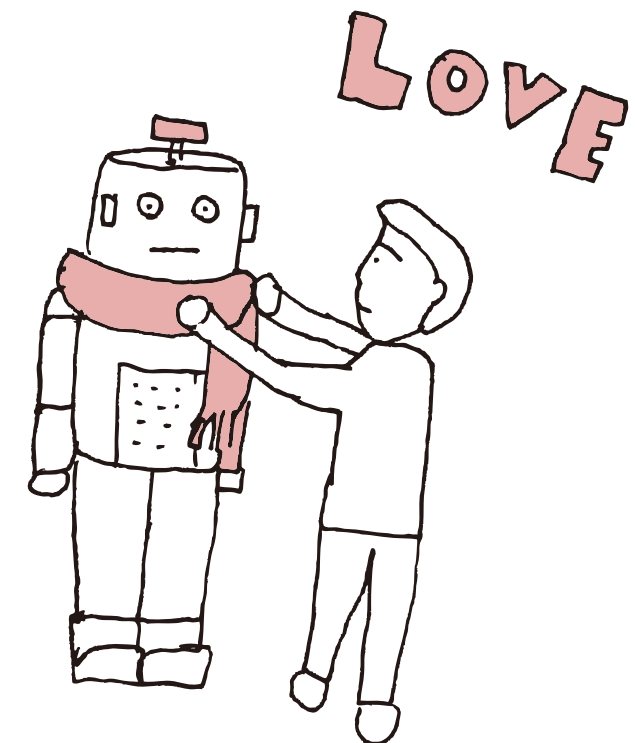
(そこに毛糸があったからマフラー編んでみた。) のでは空しい。

コミュニケーションこそ最大の素材なのである。

本当のモノづくり社員を目指す者なら

高度な生産技術だけじゃない会社、

コミュニケーションを大切にする甲東機工の門をたたくべし。



## 一、コミュニケーションは

モノづくりの基本である。



品質保証課 平 嬌嬌 (Ping Jiao Jiao) 経済学部卒 入社3年

「今は社内でも日本語が主流。そのうち中国語や英語でも  
打合せが出来るようになったら・・・很好(ヘンハオ)！」

訳) 很好 = very good

# 目指せ。オンリーワンを

例えば甲東機工の社員は

「将来、ロボットを作りたい」と真面目に考えている。

ここにしかない技術を磨き

ここにしかない発想で

ここでしか作れない製品を作ること。

オンリーワンの会社がオンリーワンの製品を作る。

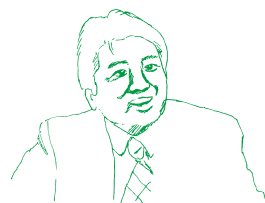
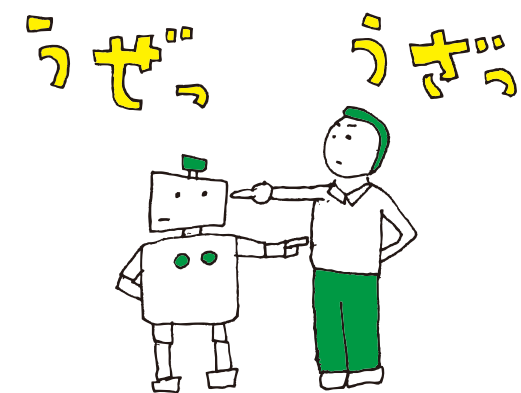
そこにはオンリーワンのモノづくり社員が必要なのだ。

普通の社員は普通の会社に行けばいい。

うっとうしいくらい、会社にちょっかいを出して

会社に刺激を与えてやろうと意気込む社員は

甲東機工の門を叩くべし。



代表取締役社長 甲斐 匠 (かい たくみ) 工学部卒  
「数年後には今のままの甲東機工は無いと思う。  
機会があれば、詳しくお話ししましょう。」

 甲東機工株式会社